

# 第23回 EMC環境フォーラム

セッション⑨ 開催日時 / 2017年10月26日(木) 10:00 ~ 16:20 開催地:サンシャインシティ文化会館 7階

## EMC国際標準化における課題と審議動向

～電子情報技術、放送・通信分野を中心として～

[チェアパーソン] NTTネットワーク基盤技術研究所 秋山 佳春 氏

**概要** 電子情報技術や放送・通信分野に関する EMC 国際標準化は、CISPR 35 の発行を受けて一つの区切りを迎えた。本講演では、CISPR 及び ITU-T 国際標準化の舞台上に既に始まっている、将来に向けた課題に焦点を当て、技術的なポイントや製品に及ぼす影響等について解説する。

**受講者レベル** EMC(工学)に興味があればどなたでも

### □ 講演概要 □

#### 開会のご挨拶

NTTネットワーク基盤技術研究所 秋山 佳春 氏

10:00~10:05

#### 第1講座 CISPR/Aにおける課題と動向

NTTアドバンステクノロジー(株) 田島 公博 氏

10:05~11:25

IEC/CISPR/SCA (国際無線障害特別委員会 A 小委員会) では、EMC 分野における妨害波測定法の国際標準化に取り組んでいる。近年の電磁環境の多様化により、様々な情報技術装置、電子機器、電気機器の測定法に関する妥当性評価の議論が活発化している。本セッションでは、妨害波測定法の最新課題として、EUT サイズ、測定距離、テストボリューム、サイト評価法などの規定について、2017 年 10 月に開催される IEC/CISPR Vladivostok 会議での最新状況をレビューしながら、取り組むべき技術的課題について、初心者にも理解しやすいように丁寧に解説する。

##### 【講演目次】

1. CISPR国際標準化の意義
2. SCAの概要とVladivostok会議のトピックス
3. SCAにおける主な審議動向と課題
  - 3.1 30 MHz以下における放射妨害波測定法の動向と課題
  - 3.2 放射妨害波測定法におけるEUTボリュームサイズ、測定距離規定の動向と課題
  - 3.3 CISPR 16-4-2:測定装置の不確かさの改定動向と課題
4. これらの課題が製品規格に及ぼす影響

受講者の方へ EMC 国際標準初心者から中級レベルまで

#### 第2講座 CISPR/Iにおける課題と動向

PFUテクノコンサル(株) 千代島 敏夫 氏

13:00~14:20

マルチメディア機器の EMC 規格を担当する CISPR/I では、2015 年にエミッション規格である CISPR 32 第 2 版を、また、イミュニティ規格である CISPR 35 初版を、2016 年に発行した。現在、次の修正に向けた課題の検討が開始されている。その中には、供給電源 Z 規定やアンテナ校正規格の変更など、CISPR/A と関係するものや、屋外 LAN のサージ試験、通信線サージ ITU-T との整合など ITU-T と関係するものがある。次の修正への課題と動向および、CISPR/A や ITU-T との連携について説明する。

##### 【講演目次】

- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. CISPR 32 Ed.2.0:2015 概要  | 4. 次の修正への課題        |
| 2. 次の修正に向けた課題               | 4.1 携帯電話からのRS試験レベル |
| 2.1 供給電源 Z 規定               | 4.2 通信サージITU-Tとの整合 |
| 2.2 アンテナ校正規格のCISPR 16-1-6採用 | 4.3 屋外LANのサージ試験    |
| 2.3 ワイヤレス電力伝送の要求            | 4.4 共通イミュニティ規格との整合 |
| 2.4 その他の課題                  | 4.5 その他の課題         |
| 3. CISPR 35 Ed.1.0:2016概要   | 5. まとめ             |

受講者の方へ マルチメディア機器の EMC 規格の課題や動向について興味のある方

## □ 講演概要 □

### 第3講座 ITU-T/SG5における課題と動向

NTTネットワーク基盤技術研究所 奥川 雄一郎 氏

14:30~15:50

ITU-T (国際電気通信連合 電気通信標準化部門) SG5 では、通信システムの EMC に関する勧告の制改訂を行っている。本講演では、今年 5 月に開催された会合の審議結果として、雷・過電圧防護に関する勧告の改訂や、通信装置の近接放射イミュニティ試験法に関する勧告制定などを中心に課題と動向を概説するとともに、仮想化技術による次世代 NW の到来を見据え、EMC の観点からその実現に向けた課題を展望する。

#### 【講演目次】

1. ITU-T SG5 2017-2020会期の概要と検討体制・課題
  - 1.1 ITU-T SG5の構成とミッション
  - 1.2 2017-2020会期の検討体制と課題
2. ITU-T SG5 2017年5月会合 (WP1) の審議結果と今後の動向
  - 2.1 課題1 (電磁サージからのICT設備の防護) の審議結果と動向
  - 2.2 課題2 (装置の過電圧耐力と防護素子) の審議結果と動向
  - 2.3 課題3 (ICTからの電磁界に対する人体ばく露) の審議結果と動向
  - 2.4 課題4 (電気通信環境におけるEMC問題) の審議結果と動向
  - 2.5 課題5 (電磁界と粒子放射線からのICTシステムのセキュリティと信頼性) の審議結果と動向

受講者の方へ **規格を使う方。設計開発のエンジニア。**

### 第4講座 Q&A及びフリーディスカッション

15:50~16:20

- ①今の EMC 規格や試験、対策、制度等における問題点の洗い出し (例えば、妨害波モデルが古い、規定の無い周波数帯をどうするべきかなど)
- ②将来の EMC 技術に期待することについて意見交換できればと考えています。

## 技術セッション / 受講料(テキスト代、昼食代を含みます)

■各技術セッション定員50名(総合セッションへ無料で参加)

\*特別優待受講料の方は、①月刊EMCの読者、②早期申込みの方(2017年9月11日まで)、③講師からのご紹介者、④前回フォーラムを受講された方となります。

**特典** 技術セッション受講者は無料にて総合セッションを受講することができますので申込書の□に✓をご記入下さい。

特別受講料	40,000円/1日間	75,000円/2日間	97,000円/3日間	総合セッション/3,000円(受講者は無料です)
一般受講料	54,000円/1日間	98,000円/2日間	145,000円/3日間	技術交流会/5,000円(定員100名様)

## テキスト販売 / 各セッション10,000円(税込)

※本フォーラムにて使用されましたテキストを技術セッションごとに1冊単位で販売いたします。10,000円(税別) / 冊(送料を含む)

## お申込み要領

- ※**注意** 技術セッションはサンシャイン文化会館 7F、総合セッションと技術交流会は 5Fにて 10月26日(木) のみの開催となります。
- ※新しい人脈を築く技術交流会は定員100名様となりますので、申込順とさせていただきます。

**FAX申込書送付先** 029-877-1030 または <http://www.it-book.co.jp/EMC/forum/index.html>

### ■お問い合わせ

〒300-2622 茨城県つくば市要443-14 ソリューションフォーラム事務局 TEL.029-877-0022 E-mail:kagaku-gijyutsu@it-book.co.jp

きりとり線

## FAX申込書 [029-877-1030]

お申込日: 2017年  月  日

お申込みセッション		◎総合セッションを <input type="checkbox"/> 受講する <input type="checkbox"/> 受講しない	
9 EMC国際標準化における課題と審議動向 ~電子情報技術、放送・通信分野を中心として~			
お申込者(フリガナ)		勤務先	ご所属
		様	
ご住所 <input type="text"/> - <input type="text"/>			
TEL( <input type="text"/> )-( <input type="text"/> )-( <input type="text"/> )		E-mail	受講料
*特別受講料の方は必ずご記入下さい		<input type="checkbox"/> 早期申込み <input type="checkbox"/> 前回受講者	技術交流会
<input type="checkbox"/> 月刊EMC読者No( <input type="text"/> )		<input type="checkbox"/> 講演者紹介(ご講演者氏名 様)	合計
			円